加茂暁星学園スポーツ振興計画

令和７年４月

学校法人加茂暁星学園

― 目　次 ―

Ⅰ　加茂暁星ルネサンス計画全体の体系　1

Ⅱ　計画の目的　1

Ⅲ　計画期間　1

Ⅳ　加茂暁星学園のスポーツ振興（総論）　2

　1　スポーツによる地域貢献　2

　2　スポーツ文化の発展への貢献　3

　3　人間力の育成　3

Ⅴ　加茂暁星学園のスポーツ振興（各論）　4

　1　新潟経営大学の重点プロジェクト　4

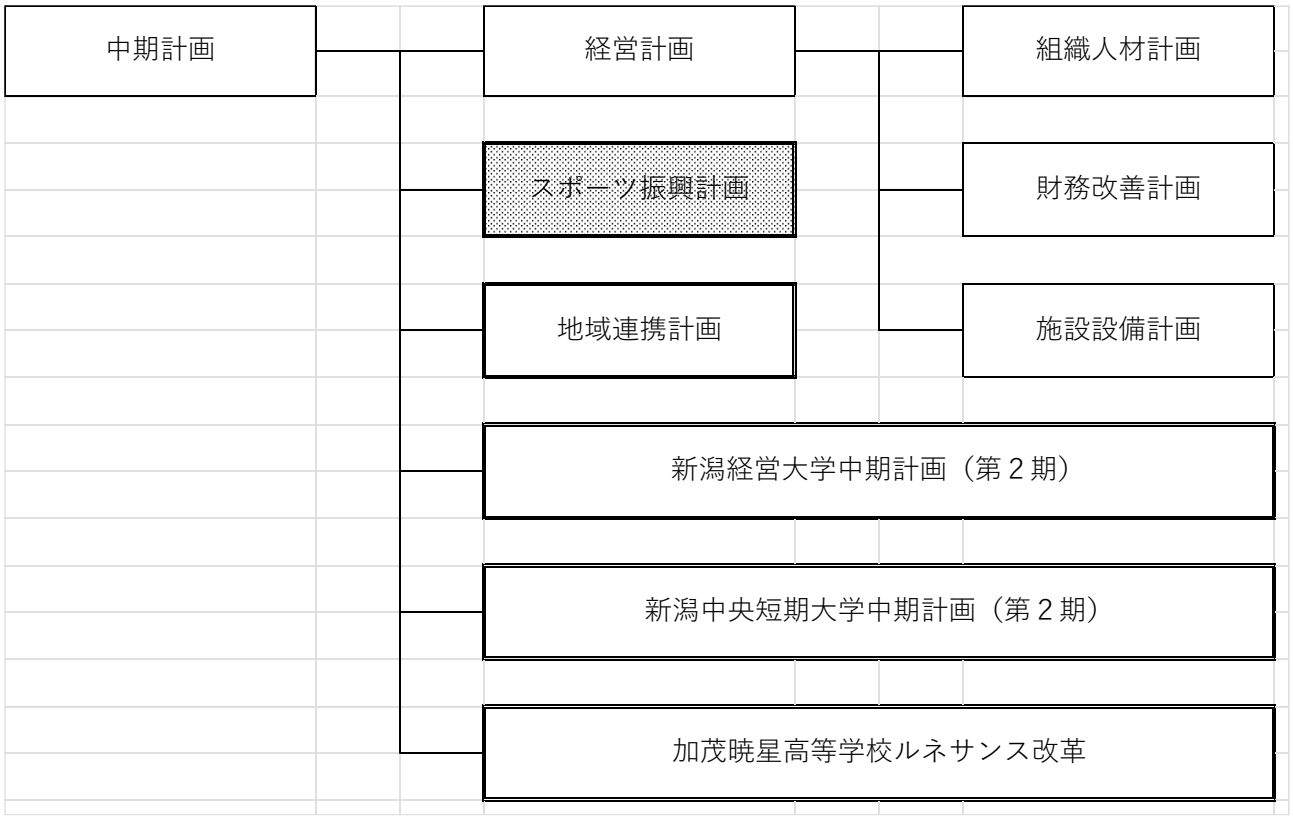
　2　新潟中央短期大学の重点プロジェクト　5

　3　加茂暁星高等学校の重点プロジェクト　5

Ⅵ　スポーツ強化のためのスケジュール　5

Ⅰ　加茂暁星ルネサンス計画全体の体系

本計画は、学校法人加茂暁星学園の総合計画である「加茂暁星ルネサンス計画」の一部を構成するものである。



Ⅱ　計画の目的

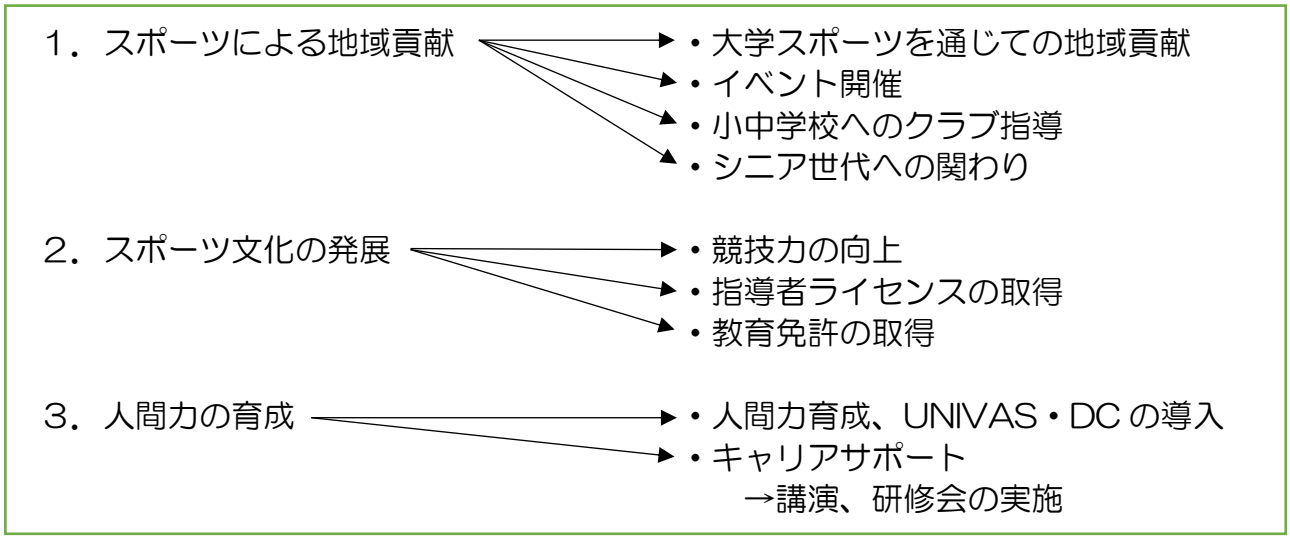
加茂暁星学園は、スポーツ振興として、スポーツを通じた地域貢献とスポーツ文化の発展への貢献を掲げ、これを達成するために学生及び生徒の人間力を育成するものとする。

Ⅲ　計画期間

令和７～11 年度

Ⅳ　加茂暁星学園のスポーツ振興（総論）

計画の目的達成に向け、３つの柱を設定する。



１　スポーツによる地域貢献

（１）学園のスポーツを通じての地域貢献活動

ア　部活動単位による地域の清掃活動
イ　部活動単位での地域イベントへの参加

（２）学園の施設を利用してのイベント開催

ア　サッカーの公式戦などにサッカー教室を行い、子供たちが楽しめるようにする
イ　イベントではキッチンカーや販売ブースを用意し、地域の人たちの楽しみを創る

（３）小中学校へのクラブ指導

ア　大学生が指導者として小中学校に伺い、直接指導をする。

（４）シニア世代への関わり

ア　運動教室の開催
イ老人ホームへのお手伝い

２　スポーツ文化の発展への貢献

（１）競技力の向上

競技者として、日頃のトレーニングと向き合い、精神力・技術力・忍耐力を磨き心技体を整え、競技の日本一を目指す。

（２）指導者ライセンスの取得

指導者を目指すことにより、スポーツ理解を深めるとともに、子供たちにスポーツ指導を行う。

（３）教員免許

教員免許の取得により、自身が培ってきた競技能力を指導に役立てることができる。

３　人間力の育成

（１）人間力育成

社会に出ても通じる人材の育成
スポーツを通じてのマナー（挨拶・身だしなみ）の徹底
社会貢献できるリーダーの輩出
→ （参考）UNIVAS デュアルキャリアプログラムの導入

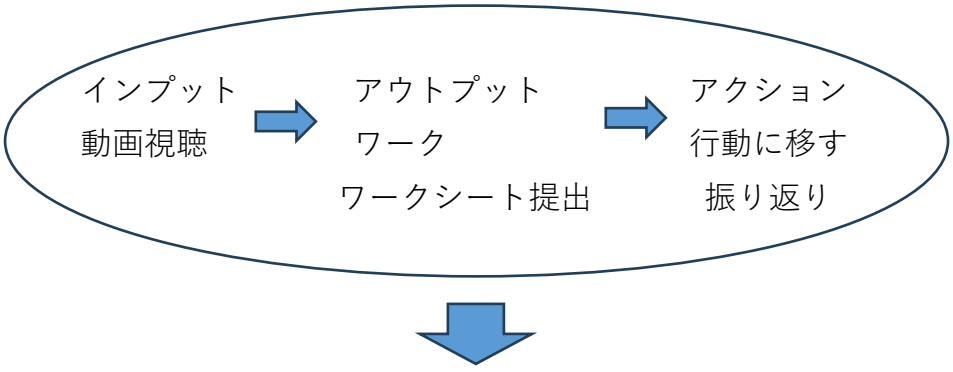
（２）キャリアサポート

キャリア支援担当部署とスポーツ振興課が連携し、情報共有を行い、学生の支援を行う。また、多彩な卒業生を活用し、講演や研修会を行う。

（参考）UNIVAS デュアルキャリア（DC）プログラムによる人間育成

＜概要＞

DC ONLINE を活用し、大学 4 年間を通じて社会で必要とされる人間力を身に付ける為、１２の資質・能力を学ぶ。



それぞれ繰り返し行うことで実践的社会人になるための準備

Ⅴ　加茂暁星学園のスポーツ振興（各論）

１　新潟経営大学の重点プロジェクト

スポーツマネジメントの新たな展開と受け皿づくりを推進する。

＜重点目標⑴　スポーツ教育による学生の資質向上＞
・強化指定部員としての自覚を促し、学生生活におけるマナーを指導する。大学から様々な面でサポートしてもらっているという意識を持ち、授業に取り組む姿勢、スポーツに取り組む姿勢を正すよう指導する。

＜重点目標⑵　スポーツ科学分野の環境整備＞
・スポーツに関連した実地研究、スポーツマーケティングリサーチ、GPS を活用したスポーツデータ測定、スポーツ栄養学など、スポーツ科学の新たな分野の教育を充実させる。

＜重点目標⑶　スポーツ環境の整備＞
・グラウンドのメンテナンスやアリーナの結露や熱中症対策としての冷房の設置を行い、選手がケガ等無く安全に練習や試合が行える環境を整備する。

＜重点目標⑷　スポーツ資源への集中投資＞
・重点目標⑶に掲げた施設整備の他、指導スタッフを充実させ、選手の指導や安全管理ができる体制を構築する

＜重点目標⑸　スポーツ施設マネジメント＞
・グラウンドやアリーナ、トレーニングセンターを他団体に貸し出す際に使用料を徴収する。

＜重点目標⑹　大学のブランディング強化＞
・強化指定部の強化を行い全国にアピールする。毎年全国大会に出場することで全国への宣伝になり、学生確保にもつながる

＜重点目標⑺　スポーツを活用した国際交流＞
・留学生を迎え入れて、各種スポーツ体験やスポーツマネジメントの講義を受講してもらう。

＜重点目標⑻　大学スポーツの強化・促進＞
・スポーツ環境を整備し、指導スタッフの充実を図るとともに、奨学金制度を充実させて、各スポーツ強化指定部が毎年、全国大会に出場し、上位進出を目指せるようにする。

＜重点目標⑼　スポーツによる社会連携の促進＞
・地元自治体と連携し、義務教育諸学校の体育系部活動の練習メニューのサポートを実施する。
・本学のスポーツ資源を生かした子ども向け講座を開催する。
・加茂市のスポーツを通じたまちづくり事業に参画する。

２　新潟中央短期大学の重点プロジェクト

これまで取り組んできた大学強化指定部のスカウト活動および活動場所としての施設利用の提供について、今後も継続して協力していく

３　加茂暁星高等学校の重点プロジェクト（案）

小・中学生が新潟県央エリアの第一の進学先として本校を志願したくなるような魅力的な部活動づくりに努める。

(1)スポーツを通じた体力および競技力の向上

強化指定部が大会等で結果を残せるよう、施設設備の充実に努めるとともに競技力向上に取り組み、新潟県大会での上位入賞を目標に、ブロック大会や全国出場を目指す。

(2)運動部活動を通じた生徒の非認知能力の育成

強化指定部の生徒として、高校などから様々な支援を受けていることを意識し模範生となるよう努めさせる。また、普段から気持ちの良い挨拶や気配りができるよう指導するとともに、周囲からの期待に応えようとする気持ちを育成する。

(3)地域の小・中学生や社会人との練習会や交流による地域貢献

加茂市や加茂市スポーツ協会と連携し、小・中学生との交流をとおして地域スポーツの活性化に貢献する。加えて将来は加茂暁星高校のスポーツを目的に進学してもらえるように努める。

Ⅵ　スポーツ強化のためのスケジュール

次ページ参照。

加茂暁星学園スポーツ強化　スケジュール

機関	所属	令和7年度	令和8年度	令和9年度
大学	サッカー	男子部員90名	男子部員90名	男子部員90名
		女子部員40名	女子部員50名	女子部員40名
		男子コーチ採用	女子GKコーチ採用	
			女子サッカーフェスティバル開催	女子U-16部門創設
	バスケ	男子バスケ部員　50人	男子バスケ部員　45人	男子バスケ部員　45人
		女子バスケ部員　20人	女子バスケ部員　20人	女子バスケ部員　20人
		男子コーチ採用		
		外国人留学生獲得（男子）	外国人留学生獲得（女子）	外国人留学生獲得（男子）
	体操競技	部員30名	部員30名	部員30名
		ドイツブロリーグ・ブンデスリーガにプロ選手として参加		
	水泳	部員7名	部員8名	部員8名
	卓球	男子部員14名、女子部員6名	男子部員17名、女子部員8名	男子部員20名、女子部員10名
		コーチ1名採用		
		オープン大会orリーグ戦創設	中越地区小中学生の強化事業開始	中越地区全年代の強化事業開始
	陸上競技	女子7名、男子5名	女子13名、男子10名	女子18名　男子15名
		経営大記録会　練習会　駅伝大会創設		
	クロカンスキー	部員4名（男女各2名）	部員6名（男女各3名）	部員8名（男女各4名）
	チアリーディング	部員5名	部員10名	部員15名
		コーチ打診	コーチ1名採用	
短大				
		大学強化指定学生受入れ	大学強化指定学生受入れ	大学強化指定学生受入れ
		スポーツ特待生受入 2、3名	スポーツ特待生受入 2、3名	スポーツ特待生受入 2、3名
高校	野球	部員67名	部員65名	部員54名
	サッカー	男子部員　72名	男子部員　82名	男子部員　77名
	女子バレー	女子バレー部員　17名	女子バレー部員　23名	女子バレー部員　24名
その他全体		高校グラウンド改修（トラック全天候化）研究		大学グラウンド人工芝張替え